

事務事業マネジメントシート
(兼)予算編成資料・実施計画資料

作成日 H 25 年 3 月 18 日作成

事務事業名	中学校部活動コンクール・コンテスト参画事業			所属部局	教育委員会	単位番号	12261		
	□ 実施計画事業			所属課室	教育総務課	課長名	新津 岳		
基本政策	V	個性と文化を育む都市づくり		所属担当	学事担当	担当者名	米山 一樹		
				予算科目	会計	名称	款	項	目
政 策	23	学校教育の充実		事業区分	□ 国の制度による義務的事業		□ 施設等維持管理事業		
					□ 県の制度による義務的事業		□ 補助金交付事業		
施 策	36	「生きる力」を育む学校教育の推進		□ 市の制度による義務的事業		□ その他の事業			
				□ 義務化されている協議会等の負担金					
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成15年度） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（～ 年度）			法令根拠					
事務事業の概要	事業の内容 ：期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 各種大会参加に参加するための学校負担金を支払う。 (山梨県吹奏楽コンクール、山梨県アンサンブルコンテスト、全日本合唱コンクール山梨県大会) 各中学校ごとに予算計上している。				事業費の主な内訳 （24年度 決算見込） 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円) 負担金補助交付金 272 計 272				

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	負担金の支払い
24年度活動実績	
25年度活動予定	
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	対象となる学校
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていくのか、どのように変えるのか)	コンテストに出場する
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	生徒の生きる力を養う

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア 負担金	件	
イ		
ウ		
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア 参加校数	校	
イ		
ウ		
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア コンテストに参加した回数	回	
イ		
ウ		
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称	単位
ア コンクールに参加して良かったと思う生徒の割合	%	
イ		

(2) 事業費・指標の推移		単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算見込・実績)	25年度 (予算・目標)	26年度 (次年度計画・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終 年度 (トータルコスト・目標)
年間事業費	財源内訳	国庫支出金 千円							
		県支出金 千円							
		地方債 千円							
		その他 千円							
	トータルコスト	一般財源 千円	162	272	270	270	270	0	0
事業費計 (A)		千円	162	272	270	270	270	0	0
人件費	正規職員従事人員	人	1	1	1	1	1		
	延べ業務時間	時間							
	人件費計 (B)	千円	0	0	0	0	0	0	0
(A)+(B)		千円	162	272	270	270	270	0	0
活動指標		件	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0		
対象指標		校	6.0	6.0	66.0	6.0	6.0		
成果指標		回	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0		
上位成果指標		%							

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか？	合併以前から行われている
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べどう変化しているか？また、今後の予測は？	変化なし
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか？	なし

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は？	<input type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由↓】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	参加校が一律に負担しているため。
③ H 24年度に実施した改革改善の内容	特になし

事務事業名	中学校部活動コンクール・コンテスト参画事業	所属部	教育委員会	所属課	教育総務課
-------	-----------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 成果を出すために必要なものであるため結びついている。
	②公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 学校教育の一環と捉えているため妥当である。
	③維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 義務教育の中で行なっており、参加する生徒たちの活動の場が広がり生きる力に結びつくため、継続することが望ましい。
有効性評価	④成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 学校が単独で実施しているものではないので、向上余地がない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 影響なし <input type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 成果を発揮する機会が失われ、意欲の低下につながる。 学校の判断で参加、不参加の判断ができる。
効率性評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 参加するための費用が一律であるため、削減余地がない。
	⑧人件費の削減余地 成果を下げず人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 伝票処理のみのため。
公平性評価	⑨受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 市内全部の中学校を対象としている。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	山梨県内の中学校が合同で実施しているものであり、運動部が参加している大会に比べ成果を発揮できる機会も少ないことから、見直しや休止、廃止という方向は難しいと思われる。
②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	
④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)…複数選択可	(3) 改革・改善による方向性															
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果)	<table border="1"> <tr> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th></th> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th>成績水準</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>	コスト水準				削減	維持	増加	成績水準	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>		
コスト水準																
		削減	維持	増加												
成績水準	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>													
低下	<input type="checkbox"/>															
<input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切)																
<input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)																
(2) 改革改善案について	(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策															
① 大会へ参加する際の負担金であるので、大会の資料等で内容を把握。 ② ③	① ② ③															
(5) 事務事業優先度評価結果	(6) コスト削減優先度評価結果															
成果優先度評価結果	⑫															
コスト削減優先度評価結果	⑯															